

# 全学一斉避難訓練

## 訓練のねらい とお願い

名古屋大学の建物は一定の耐震性を有しており、一回の地震で倒壊するようなことはありませんが、強い揺れで建物が損傷したり、天井が落下する、未対策の家具が倒れる、棚のものが落ちるなどの危険性があります。

今年度の全学一斉避難訓練は、屋外・屋内放送設備による緊急地震速報に続いて、全員の安全行動の徹底と、屋外の一次避難場所（各建物の近くで指定）への避難などを行います。以下の説明をよく読み、行動内容を確認して訓練に参加してください。

大勢が一斉に避難する場合でも十分に対応可能かどうかを、訓練を通じて確認し、問題があればさらに計画を改善する予定です。全員が積極的に参加し、安全に避難できるかどうかを確認してください。

## 緊急地震速報

緊急地震速報が鳴ったら、強く揺れるまでの10秒間に迷わず安全行動できるように意識しておく必要があります。実験中の場合、本棚に囲まれた研究室にいる場合、階段を上っている場合、エレベーターの中にいる場合など、いろいろな状況を想定してみましょう。

## 安全行動の1-2-3



この安全行動を取る訓練は、米国で950万人が参加、日本でも行われています。恥ずかしがらずに各自で行動してください。

## 安全行動

場所により安全行動は異なります。教室などでは、机の下で頭を守り、机が動かないよう押さえる姿勢が一般的です（左図）。

実験室では、薬品などがあるため、できるだけ室外の安全な場所で身を守る姿勢をとります。

訓練では、緊急地震速報から10秒後に地震が発生し、2分間は強い揺れが続く想定です。その間、揺れているイメージを持って、安全行動を必ず続けてください（裏面の東北大学の被害）。

## 安全に避難

揺れが収まったら、教員等の指示に従って屋外に避難します。急ぐ必要はありません。**お・は・し・も**を守って、落ち着いて整然と避難しましょう。

部局、建物などで一次避難場所や避難経路が決まっています。避難路に自衛消防隊が配置されている場合は指示に従ってください。

**お**: 押さない  
**は**: 走らない  
**し**: しゃべらない  
**も**: 戻らない

## 安否情報 入力訓練

避難を終えたら、点呼等を行い、放送等による指示で終了・解散です。そのあと12時から自分の安否情報を入力する訓練を行います（裏面参照）。

災害時に各自の情報を大学に伝えることは、全構成員の責務です。携帯電話などから名大ポータルにログインし、安否情報を入力してください。このシステムは、自分の安全が確保された時点で、状況を大学に報告するために使用されます。何度でも入力できます。

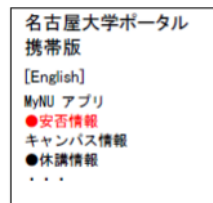
安否情報入力(名大ポータル) <https://mygnu.jp/k/>

# 名大ポータルによる安否確認情報登録(携帯電話の例)

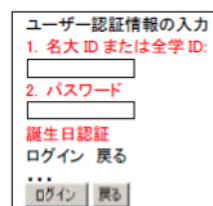
- ①名古屋大学ポータルにアクセス(<https://mynu.jp/k/>)  
右のバーコードでもアクセスできます。  
ブックマークなどを利用して、いつでも使えるようにしてください。



- ②トップページから「安否確認」を選択して安否確認システムに入り、「安否情報の入力」を選択します。



- ③ユーザー認証で、「名大ID(または全学ID)」と[パスワード]を入力してログイン。ID、パスワードがわからなければ、生年月日でも認証できます。ユーザー確認画面で自分の名前・所属を確認します。



- ④あなたの現在の状況や連絡先などを選択・入力してください。  
最後に「登録」ボタンを押して完了です。  
状況が変化したら、その都度入力すれば最新情報が記録されます。



4階建て校舎の4階部分の層崩壊



高層校舎の3階の柱の破壊



2階建て校舎の1階ピロティの柱がせん断破壊



実験室の火災

## 東日本大震災における 東北大学の被害



実験室内の状況:ドラフトが移動し、実験器具が床を埋める。



重い実験器具も移動する。人がいたら確実に挟まれる。



内開きのドアが開かず、壁を破って侵入した。



本棚が倒れてテーブルもつぶれる。